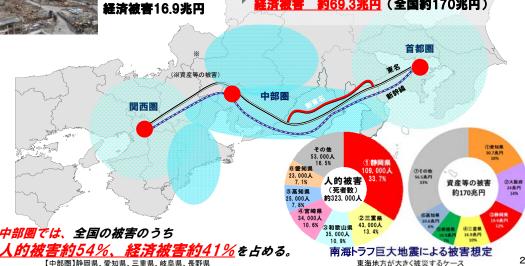
■首都圏と関西圏を結ぶ大動脈上に位置する中部圏の被災は日本経済の危機に直結

国の被害想定(陸側ケース)



東日本大震災
人的被害15,900人
経済被害16,9米四

南海トラフ地震による中部圏の被害 人的被害約175,000人(全国約323,000人) 経済被害 約69.3兆円(全国約170兆円)



南海トラフ地震対策中部圏戦略会議

中部地方整備局 建政部

☑ 国土交通省
中部地方整備局

第1回 平成23年10月4日(設立)



第7回南海トラフ地震対策中部圏戦略会議 風景

(事務局:中部地方整備局)

- 座長(奥野信宏 中京大学理事)
- ◆ 学識経験者(13名)※座長含む
- 国の地方支分部局(34機関)
- 地方公共団体(13機関)
- 経済団体(4機関)
- ライフライン関係団体等(56機関)
- 報道関係機関(10機関)

合計130構成員(H28.4.1現在)

第3回 平成24年11月5日

中部圏地震防災基本戦略【最終とりまとめ】

災害に強いまちづくり(中部管内の状況)

第5回 平成26年5月22日



中部圈地震防災基本戦略【第一次改訂】

第7回 平成28年3月24日



優先的に取り組む連携課題の中間レビュー

第8回 南海トラフ地震対策中部圏戦略会議 (平成29年5月18日)

・将来的には、南海トラフ地震対策特別措置法に基づく法定協議会へ移行

1. 南海トラフ地震対策中部圏戦略会議

☑ 国土交通省
中部地方整備局

7つの優先的に取り組む連携課題と2つの継続的に取り組む連携課題

被害の最小化に向けた事前対策

迅速な応急対策、 早期復旧の実施体制の構築 地域全体の復興を 円滑に進めるために

避難、防御

応急・復旧

円滑に進めるため(**復興**

7つの優先的に取り組む連携課題

1.災害に強いものづくり中部の構築

2.災害に強い物流システムの構築

3.災害に強い地域づくり

4.情報伝達の多層化・充実と情報共有の強化

5.防災意識改革と防災教育の推進

6.確実な避難を達成するための 各種施策の推進

7.災害廃棄物処理のための広域的連携体制の整備

2つの継続的に取り組む連携課題

8.防災拠点を結ぶネットワーク形成と総合啓開のオペレーション計画の策定

9.関係機関相互の防災訓練の実施

/2

2. 「災害に強いまちづくり」の取組み

◎ 国土交通省

「地震・津波災害に強いまちづくり ガイドライン」策定 (H26.2) 「広域巨大災害に備えた仮設期の住まいづくり ガイドライン」策定 (H25.2)

波災害に強いまちづくり意見交換会

- ○地域の防災まちづくりに向けた取組・現状 およびニーズ把握のため、首長・学識者 との意見交換会を開催
- ○地域の課題解決策などについて議論
- □三重(平成26年7月29日) 口静岡(平成26年7月30日)
- □愛知(平成26年8月19日)
- □静岡(平成27年12月21日)
- □愛知(平成28年 2月 2日)
- □三重・愛知(平成29年2月7日)
- □静岡・愛知・三重(平成29年12月27日)

災害に強いまちづくリシンポジウム

○南海トラフ巨大地震等の災害が危惧され る中、地域における災害に強いまちづくりを あらためて考える機会として開催。

- 口平成26年2月13日(テレピアホール)
- □平成27年3月 6日(名古屋国際センター)
- □平成29年1月29日(ウィルあいち)
- □平成30年2月 1日(名古屋国際センター)

中部ブロック災害時住宅支援に係る 連絡調整会護

○発災時の仮設住宅の確保や恒久住宅の供 給の迅速化などに向けた議論・連携を継続的 に実施。 5

2. 地震・津波災害に強いまちづくり ガイドライン

「地震・津波災害に強いまちづくり基本方針」策定手順

南海トラフ被害想定

想定される被害

- 新耐震以前の木造住宅等 の地震による倒壊
- 津波により浸水深2mで木 造住宅の6割は全壊・流出 (RC造は2割が全壊したものの 流出は5%未満)

①現状把握



②課題分析

3つのモデル地区では、この手 順に沿って、まちづくり基本方 針案の策定までをケーススタ ディで実施

> 自治体の担当者は自分の街を モデル地区に置き換えて、手順 に沿ってまちづくり基本方針案

が策定できるように配慮

災害に強いまちづくり方策体系図

対策

対策による被害の軽減

耐震化100%で建物倒壊 による約4万人死亡が6千 人へ

85%減少

5分の早期避難で津波によ る約19万人死亡が 2万人

90%減少

③ 考え方

4)方策検討

①安全で確実な避難の確保

②地震津波災害に強い 都市構造の構築

③災害に強い組織・人をつくる

地震・津波災害に強いまちづくり基本方針

短期施策

(避難中心の命を守る施策)

グランドデザイン

(50年後を想定した複数案で構成)

2. 3つの基本的な考え方と具体的な施策、短期・長期で検討



<具体的な考え方>

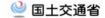
ハザードマップ・津波避難計画の整備 安全な避難空間の確保

確実な避難行動の確保

津波対策で必要となる施設対策

地震対策を必要とする施設対策

2. 大規模災害時の住宅支援

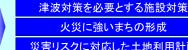


【主として建設仮設を対象】

- ◇行政や業界団体等の関係機関が、災害時に連携して被災者向け住宅支援等を行うためには、 平常時から各機関の取組みについて情報共有を図り、災害時の連携確認等を行うことが必要。
- ◇平成23年度以降、『中部ブロック 災害時住宅支援に係る連絡調整会議』等により 発災時の仮設住宅の確保や恒久住宅の供給の迅速化などに向けた議論・連携を継続的に実施。

②地震・津波に強い都市構造の構築

①安全で確実な避難の確保



災害リスクに対応した土地利用計画

地域の孤立対策

◆中部ブロック 災害時住宅支援に係る 連絡調整会議

- □平成23年度 会議 (H24. 1.27開催)
- □平成24年度 第1回会議 (H24. 5.29開催)
- □平成24年度 第2回会議 (H25. 2. 7開催)
- □平成25年度 会議(H26. 1.23開催)
- □平成26年度 会議(H27. 1.13開催)
- □平成28年度 会議 (H28.11.11開催)

- (主な会議内容) ◎大規模災害時の行政対応と課題・教訓の共有
- ◎関係機関・業界団体等との情報共有
- ○中部地方整備局と中部4県3市による連携確認

(会議メンバー)

- 中部地整、4県・3政令市の住宅課長
- (事務局) 中部地整建政部住宅整備課

今後の取組みと課題

概要、流れ、留意点等について整理し、

◆『広域巨大災害に備えた仮設期の住まいづくり

大規模災害時に備え、基本的な視点・戦略や対応の

実務を担う中部の県・市町村職員向けにまとめたもの

◎内閣府の検討会

ガイドライン』の策定

- 「大規模災害時における被災者の住まいの確保策に 関する検討会」における『論点整理』
- ○大規模災害時において想定される状況や課題、 今後の方向性について論点整理を行い、H29.8公表。
- ◎中部ブロックにおける課題・方向性についての
- ◎特に、既存ストックの有効活用、広域避難発生時の 住まい確保に向けて、平常時よりどのような準備が 必要となるかの事前検討

③災害に強い組織・人をつくる



人材等の育成

自治体・企業等との連携

地方公共団体の防災力向上 有事を見据えた体制づくり

4その他

地震保険等

短期的

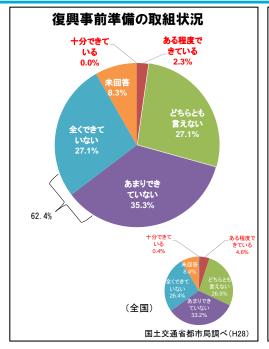
な施策を検討

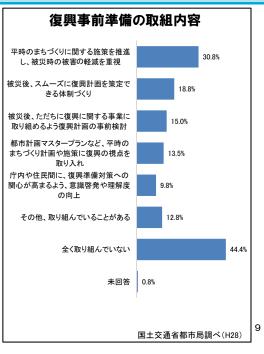
🧼 国土交通省



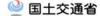
3. 中部管内の取組状況 ①復興事前準備

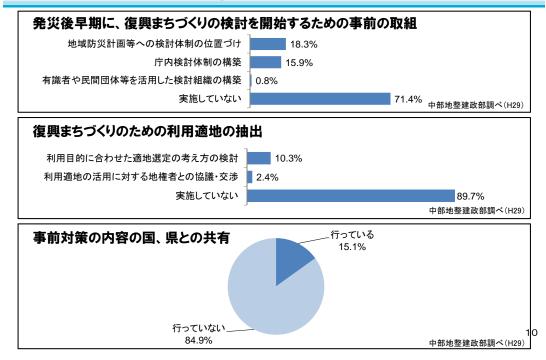
🧆 国土交通省





3. 中部管内の取組状況 ①復興事前準備



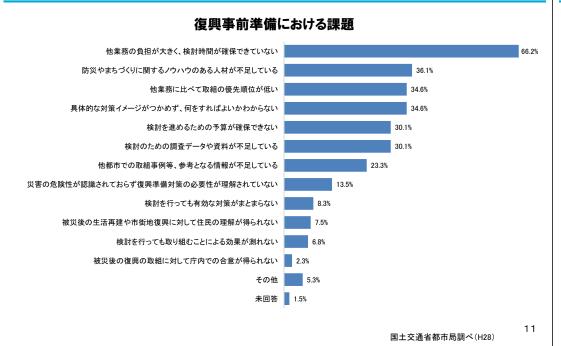


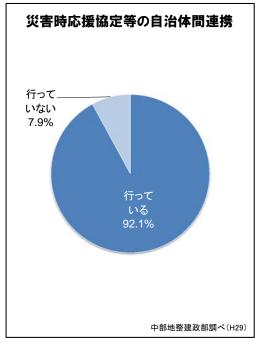
3. 中部管内の取組状況 ①復興事前準備

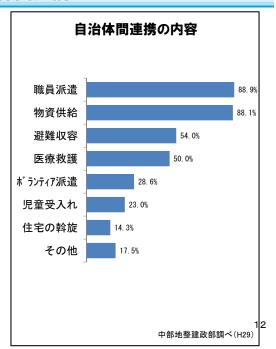
🤐 国土交通省

3. 中部管内の取組状況 ②自治体間連携

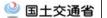
🤐 国土交通省

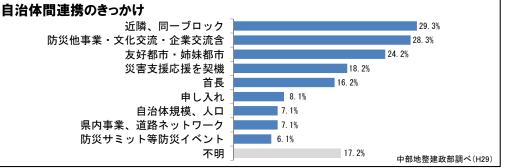


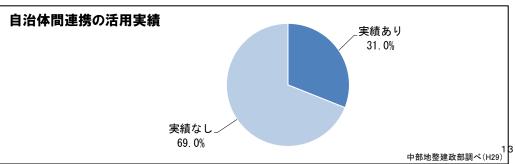




3. 中部管内の取組状況 ②自治体間連携

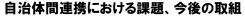


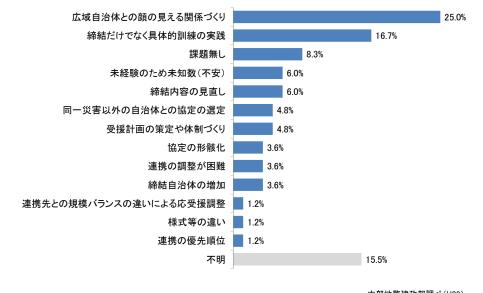




3. 中部管内の取組状況 ②自治体間連携

国土交通省





中部地整建政部調ベ(H29)

14

4. 各県の復興事前準備の取組

🤐 国土交通省

岐阜県の取組

応急仮設住宅に係る 建設可能用地のデータベース化

◇応急建設住宅の建設可能用地について、県域統合型GIS上でデータベース化することにより、インフラの整備状況、地域コミュニティ維持、安全性の検証などの視点による建設可能用地の見直し及び拡充を実施している。(県・市町村での共有)

◇迅速な応急仮設住宅の供給体制を整備するため、7つの関係団体と4種類の防災協定を締結。

4. 各県の復興事前準備の取組

🤐 国土交通省

静岡県の取組

震災復興都市計画行動計画



◇地震・津波等により市街地が広域に被災した場合、 復興事業に着手するまでに関係機関がとるべき都市 計画に関する手続きの手順等を明示した計画

- 〇被災市街地復興推進地域の都市計画を定めることを想 定し、計画期間は地震発生後2か年
- 〇都市計画事業にて復興を進める際の検討フロー、震災時の情報収集伝達網、被災市街地復興推進地域の都市計画の指定指針・基準・手続き、特定行政庁連絡先等を記載

事前復興行動計画 (平成27年2月)



◇大規模災害による被害を最小限に食い止め、早期の復興を可能とする体制を構築するために、被 災前に取り組むべき対策等を明示した計画

- ○復興支援活動等を通じて得られた知見を加えたレベル2 想定の被災シナリオに対する現状の対応能力を評価し、 課題を抽出
- 〇シナリオから明らかになった課題に対する解決策を、応 急、復旧、復興の各ステージを想定して、体制強化、用地 確保、入札制度、設計施工等の観点から検討
- 〇行動計画は、交通基盤部事前復興行動計画検討委員会 を設置し作成、進捗管理

愛知県の取組

愛知県震災復興都市計画 の手引き 手続き編 (平成24年4月)



県・市町村職員による的確かつ速やかな手続きの 実施を図るための詳細マニュアル

愛知県震災復興都市計画 の手引き 計画編 (平成25年3月)



迅速かつ的確に復興計画を定めるための基準や考 え方、被災前の日頃から地域住民の方々と地区の 防災課題の改善について検討を進めておく事前復 興の取り組みなどを明示

事前復興の取組に関する ガイドライン(案) (平成26年3月)



手引き(計画編)で位置づけた事前復興の取組が県 内市町村で促進されるよう、事前復興の取組を進め る上での基本的な考え方や、地域でケーススタディ を行った事例(岡崎市)とその留意点等のとりまとめ

事前復興まちづくり 模擬訓練プログラム (平成28年3月)



市町村と地域住民が主体となり事前復興まちづくり 模擬訓練が実施できるよう事前復興まちづくり模擬 訓練の流れをとりまとめ

4. 各県の復興事前準備の取組

三重県の取組

地震・津波被害の低減 に向けた都市計画指針 (平成28年8月)



◇近い将来に発生が危惧される南海トラフ地震や県内 に分布する活断層を震源とする内陸直下型地震に対 して、その被害の低減に向けた都市計画の基本的な 考え方を明示

- ○次期三重県都市マスタープランにおいて、圏域・都市 計画区域ごとに地震・津波災害の低減に向けた都市 計画の方針を明確化
- ○都市計画マスタープランや立地適正化計画等の策定 において活用されることを期待
- 〇ハード対策に加え、ソフト対策を効果的に組み合わせ 実施することで、地震・津波被害の低減に向けた都市 づくりを目指す
- ○都市計画マスタープランへの反映手順を明示

三重県都市計画基本方針 (平成29年3月)



◇「都市づくりの方向」の「災害に対応した安全性の向 上」において、「南海トラフ地震等の大規模自然災害に よる被害を防止または低減し、自然災害に際して被害 を受けにくい市街地の形成に努める」とされている。

◇めざす都市構造について、「都市防災の観点」で は、市街地は災害リスクの低い場所に形成し、災害リ スクが高い場所では用途を考慮しながら都市的土地 利用の抑制等を行うことを基本的な考え方としている。

都市防災推進事業

◎ 国土交通省

17

- ◆都市防災推進事業は、都市基盤整備を伴わないまま人口、産業等の集中による都市化が急速に進展し、構造 的に脆弱な我が国の都市において、密集市街地、大規模盛土造成地に代表される防災上危険な市街地にお ける防災性の向上を図るための事業です。(都市防災総合推進事業と宅地耐震化推進事業から構成)
- ◆H29年度は、中部管内で32地区が事業中。 (岐阜県【1】、静岡県【9】、愛知県【15】、三重県【7】)



津波避難タワー



避難所



津波避難マウンド



防災備蓄倉庫

(参考) 地籍調査について

◎ 国土交通省

〇民間開発事業の円滑化

地籍調査とは

地籍調査とは、国土調査法に基づき、一筆ごとの土地について、所有者、地番、地目、境界、面積 を調査するもの。(地籍の明確化)

地籍調査の現状(H29.3末) 准捗率・全国51% ---80% LT ···60%以上80%未滿 ···40%以上60%未滿 ---20%以上40%未満

中部地方の状況 岐阜県:16%

静岡県:25% 愛知県:13% 三重県: 9%

中部平均 16%

地籍調査の効果

- 〇土地取引の円滑化と土地資産の保全
- ○固定資産税の課税の適正化
- 〇インフラ整備の円滑化、災害復旧・復興の迅速化

災害復旧・復興の迅速化

津波被害を受けた宮城県名取市における復興事業(防災集団移転促 進事業)において、事業区域の地籍調査が実施済みであったことか ら、用地測量に係る費用・事業期間が縮減。



地籍調査の成果を活用することにより、測量費用が縮減、

測量期間が短縮され、早期の復旧・復興が可能。